浦　和　区　自　治　会　連　合　会

令和５年度　第３回　理事会　報告書

日時　令和５年９月１２日（火）１０時～１１時
場所　浦和区役所　１階　第２会議室

１　開会
石井桂太郎副会長が開会を宣言した。

２　会長あいさつ
藤枝陽子会長から暑い中での出席のお礼と今年も台風の影響により各地で被害が出ているが、幸い浦和区は今のところ被害がない地域であるとの挨拶があった。

３　理事成立要件の確認
理事　１８名中　１７名出席　　成立した。

４　議事録署名人の指名
中央地区の小泉信子理事を議事録署名人に指名した。

５　区からの依頼事項
（１）都心整備課より「浦和駅周辺まちづくりビジョン」に係るチラシ回覧ついて依頼があった。
（２）コミュニティ課より「浦和区民まつり２０２３」のポスター掲示について依頼があった。
（３）コミュニティ課より次の項目についてまとめて説明があった。
・スポーツ政策室より「さいたまブロンコス」PR ポスターの掲示について依頼があった。
・埼玉県芸術文化振興財団より「埼玉会館ランチタイム・コンサート」のチラシ回覧について依頼があった。
・JR 浦和駅長より１１月１１日に浦和駅開業１４０周年・浦和区制２０周年記念して全席グリーン車使用のハイグレードな団体臨時列車の旅を催行するとの説明があった。
浦和駅～宇都宮駅間の運行で、後ほど浦和区の自治会長等にご案内したいとの説明があった。

以上の依頼事項について了承した。

６　経過報告
７月　４日（火）　浦和区自治連第２回理事会（ときわ会館　３階　第２会議室）
７月１４日（金）　さいたま市自治連第３回理事会（浦和コミセン　１０階　多目的ホール）
９月　１日（金）　埼玉県共同募金会浦和区支会第２回理事会（保健センター５階　大会議室）

９月　５日（火）　浦和区自治連第３回正副会長会（浦和区役所コミュニティ課）

７　各専門委員会からの報告

（１）　事業委員会

・秦野委員長より協議事項のところで説明することとした。

（２）　対策委員会

・佐々木委員長より協議事項のその他で説明することとした。

（３）　情報委員会

・特になし

８　協議事項

（１）役員視察研修旅行について

・秦野委員長より以下の説明があった。

・前回の第２回理事会の時に示した研修日程について変更があった。一日目の県立リニア見学センターと二日目の山梨県立防災安全センターの予定が逆になったこと、ゆめソーラー館山梨（再生可能エネルギーの研修）がカットされたことの説明があった。

・また、バス代、燃料代等すべての物価が値上がりしている状況を踏まえ、研修旅行参加負担金を２０,０００円から２５,０００円にすることとし、理事全員の了承を得た。

・また、理事だけでなく多くの役員に参加してもらいたいとの説明があった。

（２）その他

・対策委員会の佐々木委員長より以下の説明があった。

・今年３月に防災課に便袋、エアベッド、紙オムツ、生理用品等の防災資器材品目の追加要望をしたが、市の回答は見送りとなった。

・佐々木委員長が川崎市、八王子市等他市の資器材補助金交付制度の説明があり、多くの市で便袋、オムツ、食料品等の消耗品も補助の対象になっているとの説明があった。

・さいたま市自主防災協議会においても各地域からの要望を吸い上げ、理事会で審議し、令和６年に防災資器材補助について消耗品の追加要望をしていきたいとの説明があった。

・また、自治会館等を「身近な避難場所」に登録すれば、アルファ米やエアマット、便袋等の支給があるので、ぜひ登録をしてもらいたいとの説明があった。現在のところ、浦和区の８５自治会のうち１０か所しか登録されていないとのことであった。

・木崎第２地区の初野理事より、要望するのは良いが、置場はどうするのか？防災倉庫や自治会館内では限度があるのではとの質問があった。また、防災倉庫の設置には建築確認申請の必要があり大きな防災倉庫の設置が困難であるとの質問があった。

・これについて、佐々木対策委員長から資器材の分散設置を図っているところであり、マンション等に協力をしてもらい資器材の分散設置を進めているとの説明があった。また、防災倉庫は奥行きが 1m未満の倉庫なら確認申請は必要なしとの説明があった。

・コミュニティ課より、「令和５年度区長と語る会」における各地区からの質問要望に対し回答内容を一覧にまとめた資料の配布し、説明があった。

９　閉会

高橋　明副会長が閉会を宣言した。

令和５年９月１９日　　浦和区自治会連合会　副会長　石井桂太郎